

リベラル鈴鹿 大窪 博 議員

もみがら 籾殻の利用について

(質問) 籾殻を加熱圧縮し、固形燃料にすればさまざまな活用ができるのではないかと。自然にやさしく、エコな燃料で火力も強く、調理の熱源としての利用や、冬場なら暖をとるなど、災害時に備蓄燃料として使用できることから、本市において活用の考え方は。

(答弁) 籾殻で作られた固形燃料は、新たなエ

ネルギー源として、また、地産地消システムの1つとしても、有効活用が期待される場所である。しかし、本市の場合は、備蓄場所での万一の火災などを考え、災害時の熱源は三重県鈴鹿LPガス協議会との災害協定に基づき、災害時にプロパンガスと器具を調達していただく方式をとっている。このようなことから、籾殻で作られた固形燃料の備蓄については難しい面がある。

その他の質問 ○特定外来生物(植物)の駆除について
○消防団について

自由民主党 山中 智博 議員

鈴鹿市議団 「スポーツのまち、鈴鹿」の実現へ

(質問) 東京五輪に続き平成33年には、「三重とこわか国体」も開催される。①スポーツ振興への今後の取り組みは。②地域活性化に、東京五輪に採用されたスケートボードの専用施設を。③例えば市内の公立中学校には硬式テニス部が1つもないが、部活動充実への考えは。④スポーツ振興は健康寿命の延伸、持続可能なまちづくりにもつながると考えるが、市長の考えは。

(答弁) ①平成29年度中には新たな「鈴鹿市スポーツ推進計画」を策定予定である。②松阪市は専用施設を建設予定で、本市も今後、調査研究する。③学習指導要領によれば、部活動はあくまで教育課程外の活動だが、多様なニーズに対応すべく、従来の枠を超えた柔軟な議論を進める。④厳しい財政状況だが、スポーツコンプレックスのような、どのような種目も楽しめる施設ができればという夢もある。「市民一人ひとりのスポーツ」に向け、今後も努めたい。

リベラル鈴鹿 伊東 良司 議員

マイナンバー制度と個人情報保護について

(質問) マイナンバーによる自治体間の情報連携が来年7月より予定されている。その際、情報の漏洩流出や不正利用などが起こらないよう厳重に取り扱う必要がある。個人情報保護の観点から、具体的な対策をどのように講じるのか。

(答弁) 制度面では、マイナンバー制度が開始されるに当たり、特定個人情報の取り扱い、従来よりもさらに厳しい利用の制限を定めるな

どの条例改正を行った。システム面では、情報の分散管理を行い、マイナンバーを符号に置き換え、暗号化して使用する。自分の個人情報のやりとりを確認できる情報提供等記録開示システムの運用も予定されている。また、電子メールなど、他のネットワークとの分離を実施した。職員の情報漏洩対策には、システム利用時にユーザー認証を行い、どの職員がいつ、誰の情報を閲覧したかのアクセスログを保存している。

その他の質問 ○民生委員・児童委員及び主任児童委員について

自由民主党 森 喜代造 議員

鈴鹿市議団 自転車の安全対策について

(質問) ①施策の方向性、事故数について。②学校の安全教室について。③自転車道の整備について。

(答弁) ①自転車のルール・マナー違反が多いことから、平成27年6月に道路交通法が改正され、3年以内に政令に定める違反行為を2回以上繰り返し行った自転車運転者に対し、安全講習の受講を義務付けることとなった。

また、本市では昨年の自転車人身事故数が78

件で死者数が3人、負傷者が74人であった。

②学校における交通安全教育は、学校が主体となり、鈴鹿市交通安全都市推進協議会が市と共同で実施している。平成27年度の自転車教室の開催は、保育園と幼稚園にて6回で139人、小中学校にて39回で9,754人が参加している。

③国の安全で快適な自転車利用環境創出ガイドラインに沿って進めたいが、用地の拡幅、多大な事業費が必要となる。このため、交通状況や自転車の利用状況を勘案しながら地域の実情に応じた整備手法を検討していきたい。

その他の質問 ○地籍調査について